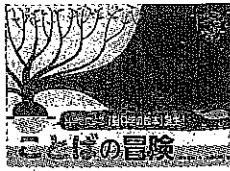


11.11.21



酒井邦嘉／著  
山田和明／絵  
明治書院  
1575円(税込)

## 人はなぜ言葉が使えるか

### ことばの冒険

語のしくみについて絵本で紹介するもの。

専門用語は使わず日常

人間はどうやって言葉を覚えるのだろう。初めに言葉を口にするまで生まれてから約1年。それから誰にどう教えてもらつて私たちが言葉を獲得するのだろうか。

語は人間にしかない機能である。「人間は言語の仕組みを生まれたときから備えている」――人間はどんなに長い文でも理解し生成できる」という。

革命的な説であることから批判もあるが、本書によつて使うことばにはいろいろあるが、どれも同じ「人間語」であり、人間だけの脳の力。科学もその言葉なくして進歩はない。人間として、その力を最大限に生かす知恵をしつかり育てたい。

グリゴリー・ワーレー・毛利公宣  
東宣卷(税)  
上

えると(?)か変」という  
オステルの世界観が新鮮  
な、初の邦訳登場だ。